



COINS

筑波大学情報学群 情報科学類
College Of INformation Science

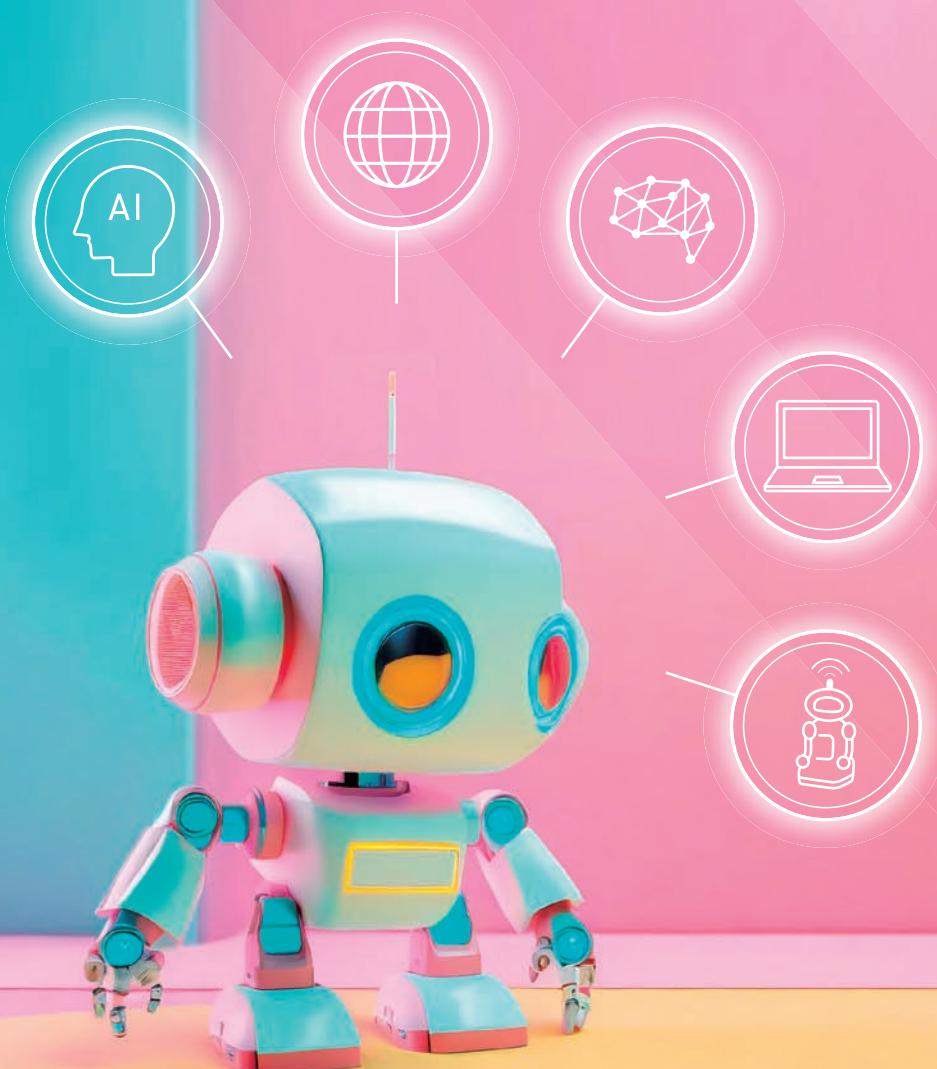
2024-2025

ソフトウェアサイエンス主専攻

情報システム主専攻

知能情報メディア主専攻

情報科学類編入



<https://www.coins.tsukuba.ac.jp/>

情報科学類で 未来の情報技術にチャレンジしよう

情報科学類は、これまで筑波大学における情報専門教育の中核を担ってきた情報学類を母体とする学類です。

前身の情報学類は1977年に発足、2007年に情報科学類に移行し、2024年3月現在、合わせて44回の卒業生を送り出しています。

人材育成目的

現代社会の原動力である情報を収集・分析・理解・伝達・変換・活用するための工学的な技術やその原理となる数理や自然科学を理解し、それを実社会における様々な問題に適用して解決する実践力を備え、グローバルな視点に立って情報技術の発展を主体的に担うことができる人材を養成することを目的とします。



筑波大学情報科学類での学び

スマートフォンやタブレット端末、ノートPC、さらにはスマートウォッチなどのウェアラブル機器など、私たちの日々の生活に、これらの情報端末や通信機器が欠かせない存在となっています。また、情報通信インフラやデータセンターなどは私たちの社会を支える基盤を形成しています。とくに最近では、飛躍的な発展を続けているAI技術が、私たちの文化、思想を根本から変える可能性を秘めています。情報科学は私たちの住む世界を大きく変革する、こういった技術の基礎を理解し発展させるために無くてはならない学問です。

筑波大学の情報科学類に関心を持つ皆さんの中には、生まれた時からデジタル機器に触れ、いわゆるデジタルネイティブとして成長してきたことでしょう。つまり、各種のデバイスや電子サービスが存在すること、そしてネットワークを介したコミュニケーションをすることが当たり前と感じる世界観をもっているかと思います。しかし、このような技術が急速に進化する時代だからこそ、情報を扱うための理論の原点に立ち返り、これまでの技術の流れを学び、将来を展望する広い視野を持つことが不可欠です。情報科学類では、最先端技術の応用だけでなく、その基盤となる理論を深く理解することに力を入れています。

コンピューターの歴史は19世紀のチャールズ・バベッジの機械式計算機から始まり、20世紀のアラン・チューリングの理論を経て、1970年代のマイクロプロセッサの登場によって私たち個人がコンピューターを手にできる時代となりました。1990年代にはインターネットが急速に普及し、2000年代のスマートフォンの登場で、現代の高度なIT社会が実現しました。さらに近年ではディープラーニングを基礎としたAIの発展により、人間だけが持つと信じられていた「知能」を、いよいよコンピューターももつことが現実的なものとなっていました。それに伴い、コンピューターは人類の生活を豊かにする可能性だけでなく、新たな課題も提示しています。これらの時代背景の中で、情報科学の知識を持った人材が多様な分野で求められ、その技術と知識によって社会に貢献することが期待されています。

インターネット上で多くを学べ、大規模言語モデルをベースとしたAIからも対話的に回答を得られる今日において、大学で学ぶことの意義はどこにあるでしょうか。それは、キャンパスという物理的な空間で、そこに集う同じ志を持つ仲間たちや教員とのインタラクションにほかなりません。本学には、わが国有数の広大なキャンパスがあり、優れた設備、教育システムを備えています。先人たちが学び巣立っていったこの地で、この空気の中で、仲間と共に学び、長年の経験を持つ教員から知識と知恵を吸収し、日々成長されることを願っています。

情報科学類で学ぶものには、1年次の基礎科目、2年次以降に学ぶ専門科目、各種の演習科目など、数多くの科目群があります。これらを通して、ソフトウェア、情報システム、知能情報メディアといった領域の基礎から応用までを広く深く学べるカリキュラムが整備されています。また、卒業研究を通して、情報科学分野の最先端に自ら挑み、新たな知識や技術を開拓することを目指します。

情報科学類での学びを通じて、自らの可能性を広げ、仲間と出会い、そして実りある人生の出発点としてください。



情報科学類長

三 谷 純

カリキュラム

履修科目と学習の進め方

入 試

学類・専門学群選抜／
推薦入試／AC入試、等

1 年次

情報科学類

総合選抜

総合学域群

専門導入科目：知能と情報科学／計算と情報科学／システムと情報科学／情報メディア入門／コンテンツ入門
知識情報概論／知識情報システム概説／図書館概論／情報科学概論

数学科目：情報数学 A ／線形代数 A ／微分積分 A

情報科目：情報リテラシー（講義）／情報リテラシー（演習）／データサイエンス／プログラミング入門 A・B

一般的な科目：ファーストイヤーセミナー／学問への誘い／英語／初修外国語／体育／国語／
教職科目／自由科目（他学群、他学類の科目から選択）など

個人発想型科目：情報科学特別演習



2 年次

専門科目：
コンピュータとプログラミング／コンピュータネットワーク／
オブジェクト指向プログラミング／論理回路・同演習／
論理システム・同演習／データ構造とアルゴリズム・同実験／
論理と形式化／数値計算法／システム制御概論／電気回路／
コンピュータグラフィックス基礎／専門英語基礎

一般的な科目：体育・自由科目（他学群、他学類の科目から選択）

進級選択（希望調査）

本人の志望、入学後の成績、適性などに基づいて、2年次に所属する学類・専門学群が決まります。

情報科学類
に移行

他学類に移行

数学・物理科目：

線形代数B／微分積分B／
確率論／統計学／
微分方程式

個人発想型科目：情報特別演習I

基礎から応用までを着実に学びながら、最先端の技術や専門知識を習得していきます。

進歩が目覚ましい情報技術は系統的に学習することが肝要ですが、基礎から応用、理論から実践、ハードウェアからソフトウェアを網羅するカリキュラムにより、その原理や仕組みを基本部分から身に着け、利用できるようになります。専任教員 55 名、協力教員 21 名の計 76 名の教員（2024 年 4 月現在）が皆さんの学習をサポートします。ただし、専任教員とは情報科学類を主担当としている教員で、協力教員とは情報科学類の授業を担当する関連学類の教員のことです。※詳しくは情報科学類の Web ページをご覧ください。<https://www.coins.tsukuba.ac.jp/>

3・4 年次

共通科目：

数理アルゴリズムとシミュレーション／人工知能／計算機アーキテクチャ／データベース概論 A ／
オペレーティングシステム／情報セキュリティ／ヒューマンインターフェース／Computer Science in English A, B ／
信号処理／機械学習／プログラム理論／オートマトンと形式言語／プログラミングチャレンジ／
プログラム言語処理／ソフトウェア工学／情報理論

ソフトウェアサイエンス主専攻

プログラミング論

プログラム言語論
情報可視化

数理情報

システム数理 I・II・III
インタラクティブ CG
情報線形代数



ソフトウェアサイエンス実験 A・B

情報システム主専攻

計算機工学

並列処理アーキテクチャ I・II
VLSI 工学
分散システム
オペレーティングシステム II

ソフトウェアシステム

システムプログラム
データベース概論 B
情報検索概論
人工生命概論

電子・通信工学

電子回路

知能情報メディア主専攻

知能情報

自然言語処理
視覚情報科学

情報メディア

音声聴覚情報処理
画像メディア工学
画像認識工学
アドバンスト CG



知能情報メディア実験 A・B

個人発想型科目：情報特別演習 II／インターンシップ I・II／海外インターンシップ／専門語学 A・B

卒業研究 A・B

専任教員と協力教員

※専任教員：情報科学類を主担当としている教員
協力教員：情報科学類の授業を担当する関連学類の教員



卒業判定

卒業に必要な科目的履修及び必要な単位の修得



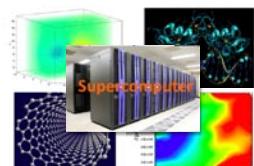
卒業（大学院進学、就職）



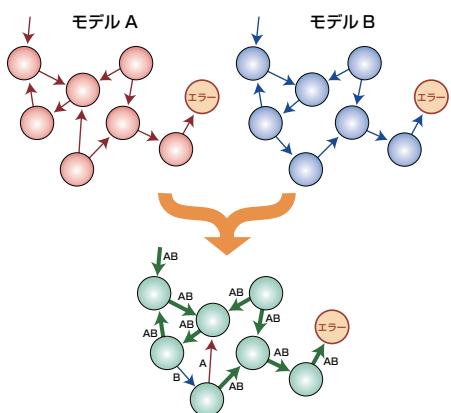
ソフトウェアサイエンス主専攻

Software and Computing Science

とてつもなく高速で、人間と肩を並べるまでに賢くなったコンピュータは、実は、数100程度の単語しか理解できない子供です、と言ったら驚くでしょうか。たった数100単語で、どのようにして、これほど複雑なことを実現しているのでしょうか。コンピュータに、手取り足取り何をしたら良いか指示を出すのがソフトウェアです。単純なブロックを巧みに積み重ねて、壮大なオブジェを作りあげるように、ソフトウェアは、数100の単純な命令を組み合わせて、人間のお供をするロボットを操ったり、表情豊かに音楽を演奏したり、また、不思議な円筒形の道具で人の意図を読み取ったり、大規模で複雑なデータに対してその要点を的確にグラフ表示するなど、様々な仕事を見事に達成します。ソフトウェアサイエンス主専攻では、このようなソフトウェアの科学と技術について

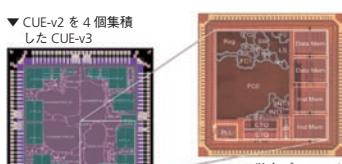


大規模数値シミュレーション技術の開発



モデル検査法：エラー状態に到達するかどうかの全自動検査

て、基礎理論から応用まで学びます。たとえば、現実の物理現象や化学反応をコンピュータの中で再現して何が起きるか見るためには、数理的なモデルを作り、その動作をシミュレートするソフトウェアを作ります。ソフトウェアが、私たちの意図通りに正しく動くか調べるために、ソフトウェアのテストや検証を行なうソフトウェアを作ります。実世界にある大量の情報を効率良く扱うためには、数学力と論理的思考力を駆使して、アルゴリズムとよばれる手順をうまく構成します。そして、ロボットや音楽演奏、人にやさしく操作しやすいシステムを作るためには、新しいアイディアを生み出す発想力が必要となります。これらを通じて、コンピュータのソフトウェアの本質を理解し、未知の問題に柔軟に対処する人材を育成します。



ネットワーキング向きプロセッサ

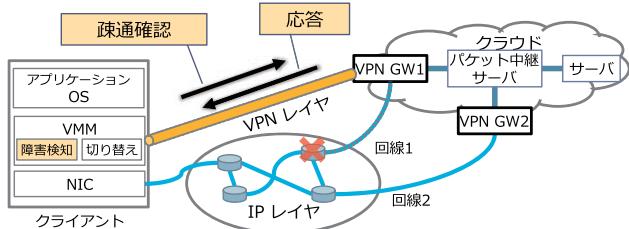


情報システム主専攻

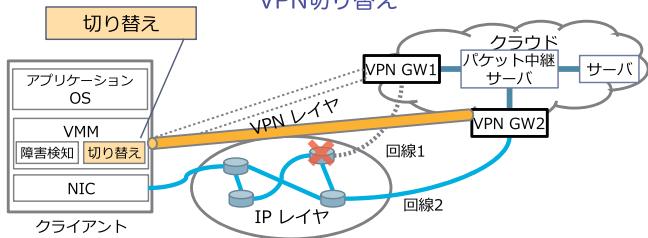
Computer Systems

情報処理の基盤的な技術は、コンピュータという目に見える形ではなくても、いたるところで使われるようになってきています。たとえば、スマートフォンやデジタル家電などにおいても、それらはハードウェアやソフトウェアを自在にあやつることのできる情報処理の基本技術の上に成り立っています。たとえば、IoT (Internet of Things) のような最新の技術も情報システムによって支えられており、それらを構成する多くの技術は時間をかけて研究開発されてきた技術によって成立しています。情報システム主専攻では、これらの基盤となる情報技術の本質を学ぶだけではなく、それらをいかに応用するかという点も重視しています。たとえば、実際にコンピュータや情報システムの中身はどうなっていて、それを設計するにはどうすればよいのか、ネットワークの仕組みはどうなっていて、どのような使い方ができるのか、ホームページを利用して新しい情報のサービスを行うにはどのような

通信と障害検知

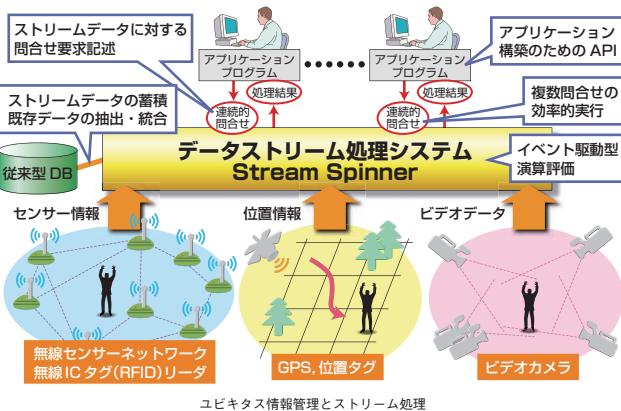


VPN切り替え



JGN-X上でOpenFlowの利用を準備中

ディベンダブルクラウド



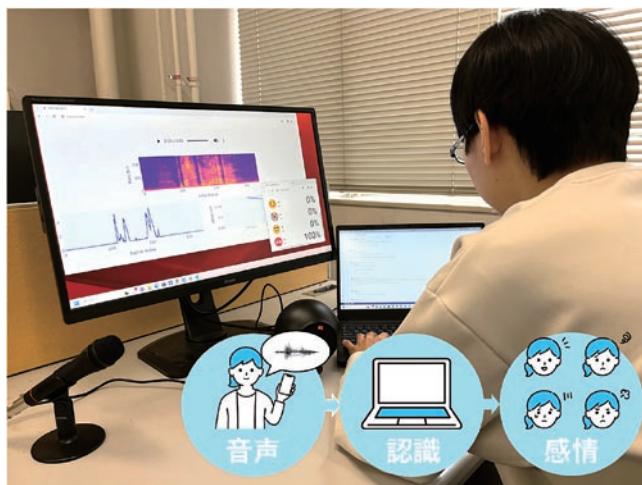
技術が必要か、などに関して基礎的な考え方から応用まで、演習や実習を交えながら理解することができます。

情報システム主専攻では、これらの基盤情報技術の本質を理解し、未来におけるさらなる発展を担う人材の育成を目指して教育を行っています。これらの基本的な技術を学ぶことによって、目覚ましい勢いで発展を続ける情報関連技術を使いこなすだけでなく、新しい技術を生み出す扱い手としての考え方や知識を習得することができます。



知能情報メディア主専攻

Machine Intelligence and Media Technologies

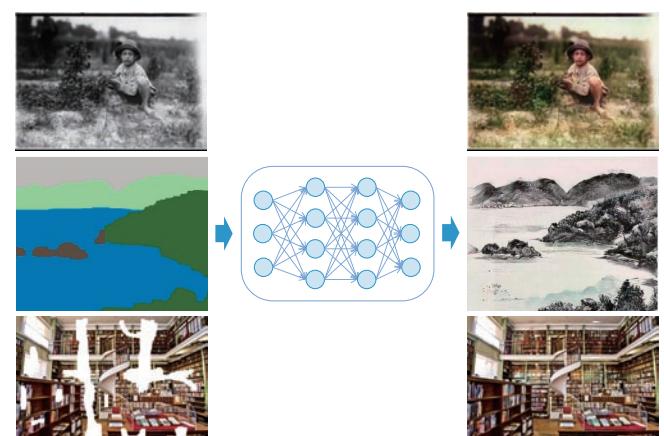


深層ニューラルネットワークとアテンション機構を用いた音声感情認識

私たち人間は、視覚や聴覚などの五感や他人とのコミュニケーションにより情報を得、それを基に状況を認識して、適切な判断をする知的処理能力を身につけています。近年、科学技術の進歩により、私たちを取り巻く環境は一変し、コンピュータやネットワークにより多種多様で膨大な情報や知識が得られるようになりました。その結果、これらをうまく利用することで、人のもつ能力を最大限に引き出すことが可能になりました。しかし、これらの膨大な情報から適切なものを選択し、人間に理解しやすい形で提供できなければ、それらは無駄なものになるだけでなく、誤った判断や行動につながる危険性もあります。

そのため、知能情報メディア主専攻では、人が自然に持っている

る知的能力やコミュニケーション能力をコンピュータや機械に与え、逆に情報や知識を得る技術を学びます。例えば、コンピュータにどのようにして知識を与えるのか、それを使えばどのような思考や推論が可能となるのか、また、人は音声、画像、立体映像などをどのように理解し、それをコンピュータで実現して人のコミュニケーションを可能にするにはどうすれば良いか、マルチメディア情報はどのようにデザインされ記憶・伝達されるのか、ネットワークでやり取りされる情報のセキュリティを守るにはどのような工夫が必要かなどについて、演習や実習を交えながら理解を深めます。これらの中的な技術の習得を通して、今後ますます高度化・複雑化するコンピュータや機械を真に人間のよきパートナーとして開発・発展させる際に中心的な役割を果たすことのできる人材を育成しています。



深層ニューラルネットワークによって様々な画像変換を実現

組み込み技術キャンパスOJTの紹介

<http://www.cojt.or.jp/tkb/>

組み込み技術キャンパスOJTとは？

「組み込み技術キャンパスOJT」は2009年から開始された、企業との連携による新しい産学共同教育プログラムです。現在は「一般財団法人キャンパスOJT型産学連携教育推進財団」により運営されており、「キャンパスに居ながらOn the Job Training」できるプログラムです。コースにはハードウェアとソフトウェアの2つがあり、企業で働く講師陣は各分野のエキスパートで、その経験とスキルを十分に体験し、実践的な学習ができます。また、工作室として3Dプリンタやレーザ彫刻機、UVプリンタ、CNCなどを備えた「openfab 創房」があり、商品のプロトタイプまで製作可能です。

単にハードウェア、ソフトウェアと言うのではなく、デザインやユーザインターフェース、ネットワークを用いて提供するサービスまでも含めての教育が受けられる環境となっています。組み込み技術キャンパスOJTは、3年次を対象に情報学群の3つの学類を横断的に開講（他学群からも若干名の受講が可能）され、「ソフトウェアサイエンス実験A・B」「情報システム実験A・B」「知能情報メディア実験A・B」の一つとして開講されます。



教室・創房

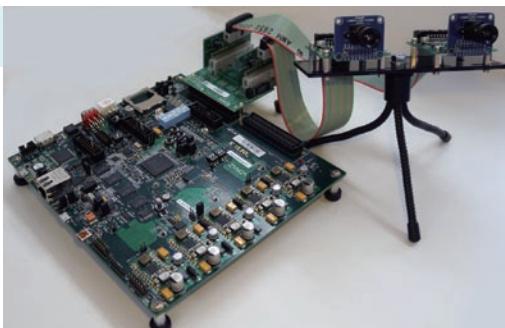


●以下は、2024年度（第16期）実施予定の各コースの説明です。

ハードウェアコース

▶学期：春・秋学期 ▶定員：12人

春学期は「映像信号の入出力」をテーマに、基本的なハードウェア記述言語の記述方法を学んだ後、ディスプレイに映像を出力するための表示回路と、カメラから映像を取り込むためのキャプチャ回路を構築し、基礎を固めます。秋学期は「グラフィックスLSIとSoC設計」をテーマに、映像信号の加工やテクスチャの描画を行うグラフィックスLSIの設計を行い、ハードウェアとソフトウェアの協調設計の観点から実践的実習を行います。最終的にはそれらを用いて各自がオリジナルの組み込みシステムを提案し、プレゼンテーションを行うことで、実社会で通用する応用力を身につけます。



FPGAボード

ソフトウェアコース

▶学期：春・秋学期 ▶定員：12人

近年のプロダクトは、オープンソース等の利用により高度なものが容易に開発できるようになりましたが、技術力だけではなくビジネスサイドからの問題解決力が求められることが多くなりました。本カリキュラムは単純に「技術を学ぶ」だけではなく「問題に向き合いながらつくる」をテーマに前半は、HTML5をベースとしたモダンなWebアプリケーションフレームワーク(React,Vueなど)を使っての実習から、最終的にはチームで企画・開発・発表を行い、企業で行う実務と同様な開発フローを行います。後半は、この発展型として、ネットワーク技術を基本としたコンテンツの開発を行い、その中で業務レベルのプロジェクト管理とTCP/IPネットワークの基礎を学習します。



受講生成果物例

■履修要件

各コースのそれぞれにおいて、エントリーシートによる適性評価と面接によって選抜を行います。1・2年次に各学類で学ぶ科目に違いはありますが、原則としてプログラミング等のソフトウェア関連科目が十分に習得されており、興味と熱意がある学生であれば、いずれのコースも出願できます。

先生からのメッセージ

情報科学類の多彩な教員による幅広い授業を提供します。

叶 秀彩 先生（機械学習）

データ解析なら機械学習にお任せ

近年、囲碁の人工知能（AI）である「AlphaGO」が人間のチャンピオンを圧倒したことで、AIが「人間に見えない答えを見つけられる」ことを示しました。機械学習はAIの主要な研究分野であり、様々なアルゴリズムを用いてデータから反復的に学習し、そこに潜む規則性やパターンなどを発見し、現状の把握や将来を予測することに利用されています。理論を正しく理解したうえで、効果的なアルゴリズムを構築し、現実の問題への適用を検討するのが機械学習の楽しいところではないでしょうか。



秋本 洋平 先生（ブラックボックス最適化）

何でも最適化、何でも自動化

最適化—コストや性能などの改善したい目的の指標や制約条件が与えられたとき、これに寄与するであろう要因を最適な状態にすること—のうち、要因と目的の指標や制約条件の間の関係がほとんどブラックボックスに見えるような複雑なシミュレーションによって与えられる最適化のことをブラックボックス最適化といい、深層学習などの人工知能技術をはじめ、航空、制御、材料、土木工学など様々な分野で応用され、システムの効率化や自動化に寄与しています。このような技術は、情報科学類で学ぶことができる情報科学や確率・統計によって成り立っています。情報科学類から、様々な分野の発展に貢献していきましょう。



塩川 浩昭 先生（データ工学）

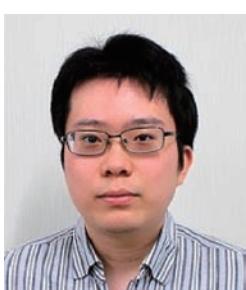
データから「今」を瞬時に分析する

近年の情報技術の発展により、メール・メッセージなどの文書データや、写真・ビデオ・音声などのメディアデータなど、多様かつ大量のデータを日々生成・蓄積する「ビッグデータ」と呼ばれる時代となりました。多くの研究者の努力により、これらのデータを分析することでデータを生み出した人間や組織、社会が「今」どのような嗜好や考え方、意見を持っているのかなどを知ることが出来るようになります。コンピュータを通じて「今」を瞬時に分析できるようになったとき、人類の生活はより豊かに発展していくのではないでしょうか。大量のデータを扱った研究に興味のある方は是非この情報科学類で共に学びましょう。

アンナ ボグダノヴァ 先生（AI倫理）

人間中心のAI：コンピュータ科学と社会科学の交差点

人間中心の人工知能の発展に欠かせない社会科学とコンピュータ科学の融合の重要性についてお伝えしたいと思います。人工知能は、人々の生活や社会のあり方に大きな影響を与える技術です。しかし、人工知能をより人間ににとって有益なものにするためには、社会科学的な視点も必要不可欠です。また、AIの普及や利用には、多様な文化や経験の背景を持つ人材が必要です。それによって、人工知能をより多くの人々が理解し、利用することができ、社会的にもより良い方向に向かうことができます。皆さんも、人工知能の発展に興味があるのであれば、ぜひこの視点を忘れずに学んでいってください。



堀江 和正 先生（医療応用）

人工知能で高度な医療をサポート

検査技術の発展に伴い、様々な検査データを用いた高度な医療・個人に合わせた医療ができるようになってきました。一方で、増え続けるデータが医師の労働環境の悪化や医療過誤につながるケースも出ています。私はこの問題を解決すべく、機械学習や人工知能技術を用いた医療診断のサポートシステム開発に取り組んでいます。情報科学は応用の幅が広く、様々な分野・業種の人と連携、成果を分かち合える魅力があります。この喜びを情報科学類と一緒に味わってみませんか？

先輩からのメッセージ



来栖 壮馬

(2016年入学)
群馬県立桐生高等学校卒

総合大学であることを感じさせる開放的かつ広大で風光明媚なキャンパスは、筑波大学の大きな特徴の一つです。隔たりのない独特な生活を送りながら、学年・学類の枠に縛られずに興味のある分野を学ぶことが出来ます。そのため柔軟な履修計画を組みやすく、自分に合う学習環境を築くことが出来る点はとても魅力的です。

情報科学類は他の学類に比べても余裕のある履修計画を組むことが出来ます。基本の時間割に従うと、

空き時間が多いため組み忘れてしまった科目も受けやすくなっています。また、1年次と2年次について時間帯の違う必修科目が多いため、1年次で積極的に他学類の科目を学び、進級してから1年次で履修しなかった科目を組むことも出来ます。僕は、先輩方から3年次に余裕がないことを聞いていたため、2年次の空き時間に3年次の科目を少し取り入れることで軽くするなどしました。

情報学のためプログラミングの実践的な授業も必修としてあります。入門レベルから学ぶため心配する必要はありません。プログラムを構成するアルゴリズムの元となるような知識も数学や物理学等から学ぶことが出来ます。ある程度身に付いてくると、プログラムをアレンジしたり、他の分野の視点への閃きがあったりするでしょう。皆さんには、情報科学類ならではの楽しさをぜひ経験してほしいと思います。



若木 良太

(2016年入学)
和光国際高等学校卒

がいること、そして同期の仲間と切磋琢磨し合い自分を高めていくことができるためです。

また、筑波大学では、自分の学類の授業だけでなく他学類の授業も受けることが可能です。これは総合大学ならではの魅力であり強みであると思います。サークル活動や留学の支援も充実しており、様々な面において自分のやりたいことを必ず見つけられると思います。

ぜひ情報科学類に入学して充実した大学生活を送ってみませんか?



村田 雄一

(2009年卒)
株式会社ディー・エヌ・エー
オープンプラットフォーム
事業部システム開発部

んでいくことができます。

卒業後の進路も様々で、専門性の高い研究職に就く人もいれば、実践的な開発職に就く人もいます。自分の場合は後者のケースに当たります。実践的な開発現場においても、在学中の講義や研究活動を通して身についた計算機科学の基礎的素養や、科学的思考は、仕事をこなす上で自身の強みになっていると常日頃から感じています。

情報科学に興味を持っている人であれば、学問として極める道も、実践的な取り組みに進む道もひらけている。それが情報科学類の特徴だと思います。



長岡 美来

(2014年入学)
freee 株式会社

2014年に筑波大学情報科学類に入学し、6年後の2020年に大学院のコンピュータサイエンス専攻を卒業しました。現在は、大学で得た知識や経験を活かして、東京の企業でクラウドインフラの設計や運用に携わっています。

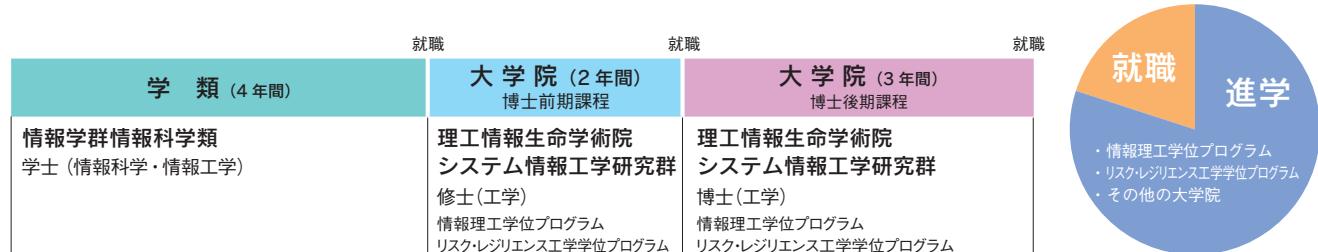
筑波大学での大学生活で良かった点は、独学では網羅することが難しい情報分野の基礎を身につけたこと、電気回路の設計からWEBページ作成まで幅広い分野の授業があったこと、様々な専門分野の先生方や学生と直接話ができたことです。また、授業外でTXを利用して東京に行き、エンジニアと話したりコーディングしたりできたことも、つくばの立地ならではの特典でした。

私が入学した当時、同期生約80人中女性はわずか7人でした。男女比を心配していましたが、入学後は男女関係なく気の合う友人ができ、サークルや課外活動で学類や大学に閉じず自然に女性とも交流があったため、あまり気になりませんでした。入学後も、柔軟に様々な選択ができる大学のため、迷っている方も安心して挑戦してください。

卒業後の進路

情報化社会の中核として、分野を越えて活躍の場があります。

情報科学類卒業生には、情報化社会の中核としての活躍が強く期待されており、前途は非常に有望です。近年は約8割が大学院進学です。企業への就職は、情報・通信・コンピュータ関係を始め、電機・自動車などの製造業から、マスコミ・出版にいたるまで、きわめて広い分野にわたっています。このように、分野を越えて活躍の場があることは、情報科学に特有の自在さといえるでしょう。大学院には博士前期課程と後期課程があり、そこに進学した人は、さらに深く勉強して研究を行った後、大学などの教育研究機関や企業の研究所などで活躍しています。



入学案内

入学定員(80+6名)

()内の数字は定員増加を予定している人数です。最新の募集要項をご確認ください。

(1) アドミッションセンター(AC)入試(募集人員8名)

情報科学や情報技術、または関連する分野に強い関心を持ち、自ら研究課題と明確な目標を設定して問題の分析や解決を創造的に図る意欲と能力を有し、その過程と結果を論理的に説明するとのできる人材を選抜します。

- 願書受付：9月
- 試験時期……………10月
- 試験科目：書類選考と面接・口述試験

(2) 推薦入試(募集人員10+2名)

高等学校における学習状況と課外活動への取組みとともに、情報科学や情報技術への関心、新しい技術を創造する意欲、自己表現能力、論理的に思考しその結果を的確に説明するコミュニケーション能力等を総合的に評価します。

- 願書受付：11月
- 試験時期……………11月
- 試験科目：書類選考と小論文・面接

(3) 個別学力検査(前期日程 学類・専門学群選抜)

(募集人員38+4名)

情報科学や情報技術を学ぶために必要な数学、理科、外国語の学習内容に対する理解度を総合的に評価します。

- 願書受付：1～2月
- 試験時期：大学入学共通テスト……………1月
個別学力検査……………2月
- 試験科目：
【大学入学共通テスト】国語、地歴・公民(地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、地総・歴総・公共、公共・倫理、公共・政治・経済から1)、数学(数I・数A)、数学(数II・数B・数C)、理科(物理、化学、生物、地学から2)、外国語(英(リスニングテスト含む)、独、仏、中、韓から1)、情報(情報I)
【個別学力検査】外国語(英、独、仏、中から1(事前選択))、数学(数I・数II・数III・数A・数B・数C)、理科(物基・物、化基・化、生基・生、地基・地から2)

(4) 個別学力検査(前期日程 総合選抜)

(入学者の2年次受入定員20名)

大学において学問的な俯瞰をしながら専門分野を定め、自らのキャリアを主体的に切り拓くために必要な、十分な基礎学力と学習意欲を有する人材を選抜します。

- 願書受付：1～2月
- 試験時期：大学入学共通テスト……………1月
個別学力検査……………2月
- 試験科目：選抜区分により異なる。詳しくは、アドミッションセンターWebページを参照。

編入学試験(募集人員10+4名)

- 願書受付：6月
- 試験時期：7月
- 試験科目：専門科目(数学、情報基礎)、外国語(英語(TOEICまたはTOEFLの点数を換算))

以上その他に、外国学校経験者特別入試(第1種4名、第2種若干名)、国際科学オリンピック特別入試(若干名)、国際バカロレア特別入試(若干名)などの制度があります。また、個別学力検査(後期日程)は廃止となりました。なお、試験科目等を変更する事がありますので、入試に関する情報は、最新の募集要項をご確認頂くか、直接お問い合わせください。

過去の入試問題の一部は、ウェブページから入手できます。詳しくは、情報科学類ウェブページ(下記)をご覧ください。

個別学力検査(前期日程)にて予定されていた「調査書による主体性評価」については、実施を見送ることになりました。Webページにて最新の情報をご確認頂きますよう、よろしくおねがいします。

- 問い合わせ先：〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1
・筑波大学教育推進部入試課
☎ 029-853-2218 e-mail : gm.nyusika@un.tsukuba.ac.jp
- ・情報学群情報科学類事務室
☎ 029-853-4962 e-mail : inquiry@coins.tsukuba.ac.jp
- ・アドミッションセンター ☎ 029-853-7385
・筑波大学Webページ <https://www.tsukuba.ac.jp/>
・情報科学類Webページ <https://www.coins.tsukuba.ac.jp/>
・アドミッションセンターWebページ <https://ac.tsukuba.ac.jp/>

■主な大学院進学先

筑波大学大学院…情報理工学位プログラム、リスク・レジリエンス工学学位プログラム、グローバル教育院、情報学学位プログラム、
教育学学位プログラム、生物学学位プログラム、等

他大学大学院……東京大学、東北大学、東京工業大学、電気通信大学、名古屋大学、慶應義塾大学、等

■卒業生の主な就職先

情報・通信・システム	NTTコムウェア、NTTデータ、NTTドコモ、大塚商会、サイバーエージェント、ナビタイムジャパン、日本マイクロソフト、楽天、日本ユニシス、富士ソフト、等
電機	TDK、アルパイン、オリンパス、キーエンス、ソニー、パナソニック、日本電気、日立製作所、富士ゼロックス、富士通、任天堂、等
通信サービス 生活サービス	クックパッド、JR東日本、セガ、ディー・エヌ・エー、ドワンゴ、ヤフー、日鉄ソリューションズ、日本郵政、良品計画、等
自動車・機械・エネルギー	スズキ、トヨタ自動車、マツダ、東レ、本田技研工業、等
マスコミ・出版・銀行保険 など	NHK、スルガ銀行、セゾン情報システムズ、つくば都市振興財団、ノジマ、三菱UFJ投信、三菱商事、新生銀行、東京海上日動火災保険、日本総研、野村證券、野村総研、リクルート、等
官庁・自治体	陸上自衛隊、桜川市役所、栃木市役所、古河市役所、航空自衛隊、台東区役所、会計検査院、新潟県庁、茨城県庁、岐阜県庁、城里町役場、等

編入学案内

学びたい、研究したいという意欲のある人を歓迎します。

情報科学類では、高等専門学校の卒業生（卒業見込みを含む）、大学に2年以上在学して規定の単位を修得した人（修得見込みを含む）、外国の大学を卒業した人（卒業見込みを含む）などを対象として、編入学生を募集しています。

編入学生はこれまで非常に活躍してきました。推薦を受けて大学院に進学し研究を行っている学生は多数いますし、学群長表彰をうけた学生もいます。情報科学や情報技術を学びたい、研究したいという意欲のある人を歓迎します。

■単位認定

高専、短大、大学等で修得した科目の単位を、本学の単位として認定する制度です。修得した科目の内容と本学類の科目の内容を照らし合わせて、個別に認定します。認定されるのは、本学類1～2年次配当の科目である語学、教養科目、体育等の基礎科目、情報の基礎科目などです。

■カリキュラム

編入学する年次は原則として3年次ですが、既修得単位その他の状況により、2年次への編入となることがあります。

3年次に編入すると、すぐ各主専攻に配属され、主専攻実験、専門科目など専門的教育をうけられます。4年次には研究室に所属して卒業研究を行います。

■入試

編入学試験では専門科目（数学・情報基礎）、外国语（英語）による選抜を行います。英語はTOEICまたはTOEFLの点数を換算します。数学・情報基礎を各2問、計4問です。

■2024年度（2023年度実施）入学試験状況

- 志願者…169名
(情報メディア創成学類との併願者 145名を含む)
- 合格者…16名
- 入学者…14名

■編入学試験の過去問について

編入学試験の過去問は、ウェブページで一部を公開しています。詳細は情報科学類ウェブページを参照するか、情報科学類長事務室にお問い合わせください。

- 情報科学類Webページ
<https://www.coins.tsukuba.ac.jp/>
- 情報学群情報科学類事務室
☎ 029-853-4962 e-mail : inquiry@coins.tsukuba.ac.jp

■編入学のためのQ&A

- Q. 高専と大学の違いは？
A. 大学の方がゆったりしていて自由である、授業や課題がより専門的である、特に筑波大学には幅広い分野の魅力ある講義が数多くある、という意見をよく耳にします。
- Q. 卒業に必要な単位を修得するのは大変ですか？
A. 単位互換制度により80単位（卒業に必要な単位の6～7割）まで認められます。高専卒の場合、主に4、5年でとった単位が認定されます。
- Q. 他学類の授業を履修できますか？
A. 履修できます。興味に応じて履修すると良いでしょう。
- Q. 学生宿舎には入れますか？
A. 入れます。民間のアパートと比べると友人ができ易いというメリットがあります。

キャンパスライフ

快適な居住環境、サークルや課外活動など充実のキャンパスライフ。



入学式

- 4月1日(月)
学年開始
4月1日(月)～4日(木)
春季休業
4月5日(金)
入学式
4月5日(金)～9日(火)
新入生オリエンテーション
4月15日(月)
春学期授業開始



食堂

筑波大学では、快適な勉学環境を提供するため、キャンパスの北地区と南地区に学生宿舎（男子寮、女子寮）を設けています。収容人員は約4千人で、新入生は優先的に入居できます。居室には個室と2人部屋があり、ベッドや机、洗面台、暖房設備などが全室に備え付けられています。共用棟には、食堂や浴場、売店、理容・美容室、喫茶室など、生活に欠かせない施設が整っています。宿舎の使用料は水道代等の共益費も含めて月額約1万5千円～です。

大学近辺の標準的な民間学生アパートを借りれば、月額3～5万円かかりますが、首都圏などと比べて半分程度の住居費で大学生活を送ることができます。それでもなお経済的に困難な学生には、入学料・授業料を免除する制度が用意されています。例年申請者の7割以上が全額または一部免除を受けています。さらに、各種奨学金制度を利用することもできます。例えば日本学生支援機構に採用されれば、種別によって異なりますが、月額3～12万円の貸与を受けることができます。その他、学業に差し支えない範囲で、家庭教師などのアルバイトを斡旋しています。

学生生活に彩りを添える楽しみとして、宿舎祭（やどかり祭）、スポーツデー、学園祭（雙峰祭）、そして情報科学類独自のバグ祭など、年間を通じて各種の行事が開催されています。こうした課外活動の中心となっているのがサークルですが、文化系、体育系、芸術系など現在200以上の団体が活動しています。



学生宿舎



研究室の様子

2024年度 学年暦

(催事／日付は予定)

春学期

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

5月18日(土)～19日(日)
春季スポーツ・デー

8月2日(金)～8日(木)
春学期期末試験
8月10日(土)～9月30日(月)
夏季休業

10月1日(火)
开学記念日
10月1日(火)
秋学期授業開始

11月2日(土)～4日(月)
学園祭
11月16日(土)～17日(日)
秋季スポーツ・デー

12月26日(木)～1月5日(日)
冬季休業

2月4日(火)、
2月7日(金)～2月13日(木)
秋学期期末試験
2月18日(月)～3月31日(月)
春季休業

3月25日(火) 卒業式
3月31日(月) 学年終了

情報科学類 Q&A

情報科学類に関する、よくある質問についてお答えします。

Q 情報科学類を卒業した後の就職状況を教えてください。

A 情報科学類は就職に関して最も実績のある学類の一つです。例年、就職希望の学生20~30名に対して、多数の求人が情報科学類に届きます。情報技術に精通した人材は、ありとあらゆる業種において必要とされており、これらも発展し続ける情報化社会を牽引する存在となるでしょう。

Q 大学院への進学状況を教えてください。また、大学院へ進学した人たちの就職はどのようになっていますか？

A 近年の実績では、卒業生のうち約8割が大学院に進学しました。情報科学類で身につけた能力を大学院でさらに磨きをかけることにより、就職に関してはより広い可能性が開けます。例えば、大企業の研究者から大学教員まで研究の第一線で活躍する先輩、高度職業人として企業の開発現場のリーダーとして活躍する先輩、あるいは学んだ技術をもとに自らの会社を興す先輩等、まさに様々な職業で活躍しています。

Q コンピュータを使った経験はわずかで、プログラムといえるようなものもほとんど書いたことがありません。情報科学類に入学しても大丈夫でしょうか？

A 問題ありません。専門的なコンピュータ教育はほとんどの学生が大学で初めて経験することであり、不正確な知識や先入観のないほうが本当の専門的知識を学ぶ上で有利になることさえあります。真に必要なものはやる気です。

Q 情報科学類生として勉強していくには、どのようなPCを持っているべきでしょうか？

A 情報科学類では、プログラミング等の授業を実習室で受ける時には、自分のPCを持込み、そこに設置されている大画面の外付けディスプレイのHDMIポートに接続して利用します。HDMI出力端子のついたノートPCが良いでしょう。オペレーティング・システムとしてはWindowsに限らず、macOS、Linuxなど好きなものを選んで構いません。実習室では、無線LANの他に安定して高速な有線LANも24時間使えます。情報科学類では、故障等で自分のPCが使えない学生のために、PCの貸出しもしています。

Q 情報科学類では、どのような科目が学べるのでしょうか？

A 情報科学類は、他大学ならば3学科分に相当する科目が用意されており、本パンフレットの「カリキュラム」の頁に掲載されている、情報関連の数多くの科目の中から学ぶことができます。また、各人の興味に応じて目標を設定し、アドバイザー教員の助言を得ながら学習を進める「情報特別演習」が用意されていることも大きな特色です。全学規模で運営されている、様々な学問分野の入り口となる「専門導入科目」も魅力ある授業です。さらに、他学群・他学類で開講されている科目も比較的自由に受講可能となっています。

Q 教職の資格は、どのようなものが取得できますか？

A 必要な科目を履修して要件を満たした場合には、下記の資格が取得可能です。

〈高等学校教諭一種〉 情報、数学

〈中学校教諭一種〉 数学

さらに必要な科目を履修して要件を満たした場合には、上記以外の高等学校教諭一種および中学校教諭一種の免許状を取得することも可能です。詳しくは下記ホームページをご覧下さい。

【筑波大学 教職課程ホームページ】<https://www.tsukuba.ac.jp/education/tt-programs/>



●つくばエクスプレスにて秋葉原駅からつくば駅まで最速45分。つくばセンターから「筑波大学循環バス(右回り)」で「第三エリア前」まで約10分。左回りでも行けますがやや遠回りになります。

●JR常磐線にて上野駅、あるいは水戸駅からひたち野うしく駅、荒川沖駅、あるいは土浦駅まで約1時間。ひたち野うしく駅東口、荒川沖駅西口、あるいは土浦駅西口から「筑波大学病院」バスで「つくばセンター」まで、あるいは「筑波大学病院」まで下車約40分。そちらから「筑波大学循環バス(右回り)」で「第三エリア前」下車。なお直行バスがない場合は、「つくばセンター行き」バスで「つくばセンター」下車、「筑波大学循環バス(右回り)」で「第三エリア前」下車。

●大宮方面からは東武アーバンパークラインで流山おおたかの森駅、あるいはJR京浜東北・根岸線にて南浦和駅でJR武蔵野線に乗り換え南流山駅でつくばエクスプレスに乗り換えてください。

●浦和方面からは南浦和駅でJR武蔵野線に乗り換え南流山駅でつくばエクスプレスに乗り換えてください。

●東京駅八重洲南口から「筑波大学行き」高速バス、「つくばセンター行き」高速バスにて「つくばセンター」下車(約65分)。つくばセンターから「筑波大学循環(右回り)」バスにて「第三エリア前」下車(約10分)。または、東京駅八重洲南口から「筑波大学行き」高速バスにて「大学会館」下車(約75分)。「第三エリア前」まで徒歩(約5分)。

